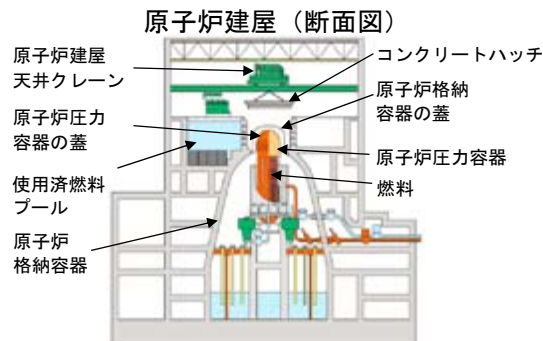


福島第二原子力発電所からのお知らせ（平成26年4月号）

福島第二原子力発電所1～4号機は、安定した冷温停止を維持しています。発電所の最新状況や、様々な取り組みをお知らせします。


今年度中に原子炉内にある燃料を使用済燃料プールへ移動する方針です

- 当所では、全号機の原子炉内の燃料について、設備の維持管理の簡素化の観点から使用済燃料プールへ移動し一括管理することとしており、これまでに2号機と4号機の移動が完了しています。
- 現在、1号機において、燃料移動に向けて、必要な設備（原子炉建屋天井クレーン、燃料取扱装置、使用済燃料貯蔵ラック等）の健全性の確認が終了し、準備を進めています。燃料移動に先立ち5月中旬より10日間程度かけて原子炉開放作業*を行います。
- その後、6月上旬から原子炉内にあるすべての燃料（764体）を使用済燃料プールへ移動する予定です。
- 3号機も含めて、今年度中に燃料を移動する予定です。



原子炉建屋天井クレーンを使用して原子炉圧力容器の蓋の取り外しを行っている様子
 【写真は2号機原子炉開放時のもの】

○原子炉開放・燃料移動スケジュール（予定）

号機	平成26年度上期	平成26年度下期
1号機	 <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉開放：5月中旬～ ・燃料移動：6月上旬～ 	
2号機	平成25年10月16日完了	
3号機		<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉開放：下期～ ・燃料移動：下期～
4号機	平成24年10月24日完了	

* 原子炉開放作業
 コンクリートハッチ、原子炉格納容器の蓋、原子炉圧力容器の蓋、蒸気乾燥器、気水分離器の取り外しを順次行っていく作業です。

ガスタービン発電機車で原子炉等を冷却する設備を動かしました

- 当所では、原子炉と使用済燃料プールの冷却を継続しており、現在の水温等は下表の通りです。全電源喪失時に冷却を継続し、水温を維持するために必要な電気を供給するため、機動力を備えた大容量のガスタービン発電機車を高台に配備し、時間内に対応できるよう操作訓練を重ねています。
- 4月22日、このガスタービン発電機車で発電した電気を使って、冷却設備を実際に運転する試験を今回初めて行いました。
- 試験は入念な準備を行ったうえで開始し、ガスタービン発電機車で発電した電気をプラント内の電源設備に送り、中央制御室で状況を確認しながら、冷却設備を動かしました。
- 試験は予定通り終了し、各設備とも正常に運転できることを確認しました。



ガスタービン発電機車全景



試験の様子（制御車）



試験の様子（中央制御室）

○原子炉（4月1日現在）

号機	水温 (°C)	温度上昇率*1 (°C/時)	100°C*2 到達時間
1号機	24.1	0.6	127時間
2号機	燃料は使用済燃料プールへ移動済み		
3号機	32.0	0.8	85時間
4号機	燃料は使用済燃料プールへ移動済み		

○使用済燃料プール（4月1日現在）

号機	水温 (°C)	温度上昇率*1 (°C/時)	65°C*2 到達時間
1号機	25.7	0.2	197時間
2号機	26.4	0.4	97時間
3号機	27.4	0.2	188時間
4号機	25.7	0.3	131時間

*1 冷却が停止した場合、1時間で上昇する温度です。

*2 原子炉の100°Cと使用済燃料プールの65°Cは、原子炉施設保安規定に定める温度であり、表中の時間は冷却が停止した場合、その温度に到達する時間です。

発電所構外での大規模火災時には 給水隊が出動します

- 当所では、発電所構内での火災発生時に備え自衛消防隊を組織していますが、発電所構外で大規模な火災が発生し水の補給が必要となった場合には、公設消防の後方支援として、要請に基づき自衛消防隊の中に設けた給水隊が出動します。同隊は、定期的に給水訓練を行っています。
- 3月に行った給水訓練では、公設消防からの出動要請（模擬）を受けるところから始まり、以下①から③の訓練を行いました。
 - ①所内放送による給水隊の招集、現場の状況と対応の把握
 - ②必要な資機材の準備、装備を確認し、給水車を給水ポイントへ移動
 - ③給水ポイントにて、消火栓と消防用ホースを使い、給水車へ給水
- 地域の消火活動の力となるべく、万への出動に備えています。



給水隊の招集・状況把握



給水車出動



消火栓の操作



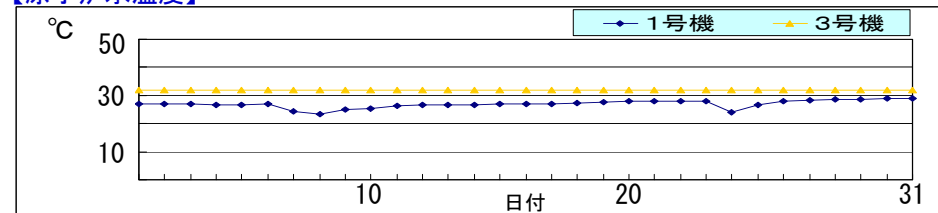
給水車への水張り

【プラントデータ】

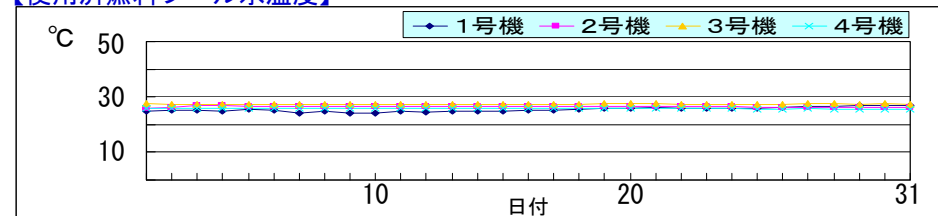
燃料の冷却状況（3月分）

原子炉水および使用済燃料プール水の温度は、約30℃程度で安定して推移しており、燃料の冷却を維持しています。

【原子炉水温度】



【使用済燃料プール水温度】

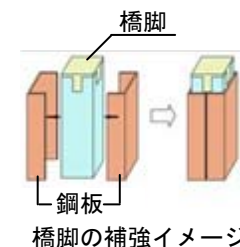


発電所敷地境界付近の空間放射線量率（1時間あたりの放射線の量）については、当社ホームページをご覧ください。

<当社ホームページ><http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/index-j.html>

当所への進入路にある金山橋の耐震強化工事を行いました

- 国道6号線から当所にいたる道路（進入路）については、当所で維持管理をしており、その入口に金山橋があります。
- この金山橋は、震災による影響はありませんでしたが、さらなる地震への耐久性の向上をはかるため、平成25年9月17日から平成26年3月28日にかけて耐震強化工事を行いました。
- 工事内容は、全長約150mの橋を支える橋脚6箇所を鋼板で巻き立てるもので、これにより耐震強化をはかりました。
- 当所の進入路については、資機材の運搬等でも重要な役割を担っていることから、今後も維持管理に努めていきます。



橋脚の補強イメージ



工事後の金山橋

福島第二原子力発電所は、引き続き安定した冷温停止を維持してまいります。

【お問い合わせ】福島第二原子力発電所 企画広報グループ
tel 0240-25-1353 受付時間(平日)午前9時～午後5時